

出題 蜚雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

問題【英語】

次の(A)と(B)の文を英語に訳してみましょう。

- (A) 私のペンがどこにあるか知ってる？
- (B) 私のペンはどこにあると思う？

豆知識 雑学コラム

疑問詞の位置に注意

今回は「間接疑問文」について扱います。次の文を見てみましょう。

(0) I don't know why he is angry.

(彼がなぜ怒っているのか、私には分かりません)

この文のknowの後ろに注目してください。疑問詞whyの後ろに、肯定文や否定文の語順通りに文が続いていますね。このように、「<疑問詞> + [主語] + [動詞] + …」の形で、文の要素(主に目的語)になっているものが間接疑問文です。特に疑問詞の後ろの語順を、しっかり頭に入れましょう。

そして、やや難しい問題になると、(0)のような文を疑問文にする、という作業が出てきます。この際、できあがる疑問文は次のうちどちらかです。なお、下では間接疑問文の中の主語・動詞をそれぞれ[主語]・[動詞]と記載しています。

- | |
|---------------------------------------|
| ① Do [/ Does / …] + 主語 + 動詞 + <疑問詞> |
| + [主語] + [動詞] + … ? |
| ② <疑問詞> + do [/ does / …] + 主語 + 動詞 |
| + [主語] + [動詞] + … ? |

この2パターンに関しては、主節(間接疑問文でない方)の動詞によって決まっています。①になるのがknow(知っている)やremember(覚えている)、②になるのがthink(思う)やhope(望む)です。

上記のように、動詞によってどちらになるかを覚える手法も有効ですが、先日お伝えした「言いたいこと・大事なことを先に言う」という英語のルールを踏まえて違いを見てみましょう。①では先にYes/No疑問文が来ています。ということは、大事なものは「するかどうか」ですね。一方で、②では先に疑問詞が来ているので、「何 [/ 誰 / どこ / …] なのか」が大事とわかります。すると、knowやrememberは「するかどうか」の方が大事なので①で、thinkやhopeは「どう考えるか」の方が大事なので②で書くと判断できるのです。

一部の動詞では、どちらのパターンにもなることができます。たとえばsayがそうです。次の2つの文を見てみましょう。

(1) Did Ken say where he was ?

(2) Where did Ken say he was ?

(1)は①の形なので、「言ったかどうか」が大事です。「ケンはどこにいるか言いましたか?」と訳しましょう。一方で、(2)は②の形なので、「どこで言ったか」が大事です。「ケンはどこにいると言いましたか?」という訳になりますね。ここで、(1)では「そもそも言ったかどうか分からない」のに対し、(2)では「言ったのは事実(あるいは前提)である」という違いがあることに気をつけましょう。

【解答例】

(A) Do you know where my pen is ?
(B) Where do you think my pen is ?